

ＴＩＣＡＤ閣僚会合サイドイベント「日・アフリカ民間セクターとの対話」  
堀井学外務大臣政務官挨拶

８月２４日 ９：００－１２：００  
（於：ジョアキン・シサノ国際会議場）

アフリカ各国代表団の皆様  
日本及びアフリカ企業関係者の皆様

ＴＩＣＡＤ閣僚会合に先立ち、アフリカ諸国の閣僚及び代表団とともに、日本とアフリカそれぞれを代表する企業のご参加、およびジェットロ、モザンビーク経済団体連合会（ＣＴＡ）、投資輸出促進庁（ＡＰＩＥＸ）のご協力を得て、サイドイベント「日・アフリカ民間セクターとの対話」が執り行われることを大変嬉しく思います。

初のアフリカ開催となった昨年８月のＴＩＣＡＤⅥ（第６回アフリカ開発会議）には、経団連会長をはじめ多くの日本の経済界のリーダーの方々が参加されました。本会議や様々な行事を通じて、アフリカ諸国首脳とも闊達な意見交換が行われたと伺っています。

アフリカの発展と経済成長を一層促進していくため、民間企業の果たす役割は極めて大きく、ＴＩＣＡＤⅥは官民の対話と協力に関する重要なプラットフォームを提供するものでした。

ＴＩＣＡＤⅥの成果を踏まえ、今回の会合にも民間セクターの方々をお招きしました。閣僚会合に日本企業とアフリカ企業が参加するのは、四半世紀に及ぶＴＩＣＡＤの歴史において今回が初めてです。今回、官民合わせて３００名以上もの方々が参加され、日・アフリカ間のパートナーシップの深化に大きな貢献をされています。

本イベントにおいて、実りある議論と意見交換が行われることを期待します。日本企業の強みは、製品品質の高さ、職業訓練を通じたスキルの高い人材育成等であり、高い技術力がアフリカの開発課題を解決することに資すると確信しています。日本企業参加者から、具体的な成功例等に触れつつ報告・発信頂ければ幸いです。

また、この直後には、日・アフリカ民間企業間のビジネスマッチングを念頭に置いたネットワーキング・ランチを予定しています。皆様におかれては、是非積極的にご参加下さい。本日のイベントが参加された全ての方にとり有意義なものとなることを心より祈念し、私の御挨拶とさせていただきます。